

立命館大学技術士会 第4回総会

議 案 書

R

平成25年(2013年) 6月22日

(社)中央電気倶楽部513号室

14:00 ~ 14:30

立命館大学技術士会第4回総会議案

<第1号議案>

① 立命館大学技術士会第3期(2012年4月1日～2013年3月31日)事業報告

(1) 会員拡大と組織強化

本会の基盤強化として、本会員、特別会員、準会員および賛助会員合計150以上を目標としたが、第3期末結果は、本会員123名、特別会員1名、準会員11名および賛助会員4社の合計139であった。
引き続き、会員拡大と組織強化を行っていく。

(2) 技術士試験受験への支援

H24年度技術士第二次試験受験支援は、2012年5月26日、7月14日の2回、受験支援講習を実施した。
口頭試験支援は、11月17日、12月1日の2回実施し、4名が合格した。
H25年度技術士第二次試験受験支援は、2013年3月16日、4月13日の2回、受験ガイダンスとして、申込書、部門と専門事項の整合を核に指導する講習会を実施した。

(3) 立命館大学への支援

大学の土木系教室と連携して、『JABEE制度と技術士制度の説明会』を2012年7月2日に実施した。また大学との意見交換も行った。
課題は、JABEE制度の活用と技術士第二次試験受験率を高めることであり、H25年度の説明会では、これらを含み取り組む予定である。
大学支援で、東日本大震災校友支援として、義援金2.6万円を送った。

(4) 技術講演会および親睦会



会および会員相互の資質向上として講演会等を企画し、第3回総会時に深川教授による講演会を実施した。交流懇親会は、福島県の被災校友を招いて、津波被害や原発状況等を話してもらった。
今後とも、更に充実を図り実施していく予定である。

(5) 会計に基金を設け、事業企画を推進する

①技術士受験支援基金(受験講習イベント、講師謝礼等)、②講演会・交流企画基金(講演会イベント、交流会イベント等)、③大学支援・共同企画基金(JABEE支援、共同講演会企画等)の3種の基金を設け、各事業企画に応じて資金の運用を図る。

< 第2号議案 >

立命館大学技術士会第3期決算報告および監査報告
(2012年 4月 1日～2013年3月31日)

決 算 報 告			
項 目	予 算	決 算	摘 要
(1) 収入			
①会費等収入	300,000 50,000	254,080 40,000 46,000 28,687 368,767	個人会費 (期末現在123名) 賛助会費 (4社) 寄付金 総会、幹事会懇親残金等 上記小計
②講習会収入	35,000	23,000	講習会参加費(延べ23名)
③その他	48,943	3,062	ゆうちょ銀行利息、その他
④前期繰越金	326,057	326,057	前期残高合計
合 計	760,000	720,886	差し引き -39,114
(2) 支出			
①通信事務費	50,000	23,140	通信費等
②受験支援等 事務費	30,000	-	HPで代用
③会議費等	150,000	123,700	幹事会、講習会会場費
④振替手数料	10,000	6,360	振込み手数料
⑤予備費	100,000	131,936	東日本大震災校友支援義援金 技術士全国大会広告
合 計	340,000	285,136	差し引き -54,864
立命館大学技術士会第3期会計収支決算			
	① 収入額	720,886	
	② 支出額	285,136	
	収支合計 = ① - ②	435,750	… 次期繰り越し金額
<p>立命館大学技術士会第3期会計内容につき、通帳、金銭出納簿、領収証 および入金書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。</p> <p>平成25年 5 月 7 日</p>			
立命館大学技術士会			
会計監事 <u> </u> 立川 繁雄 			
会計監事 <u> </u> 村山 稔 			

<第3号議案>
第4期事業計画(案)および予算(案)

<事業計画(案)>

(1) 会員拡大と組織強化

本会の組織基盤を確立するために、会員の拡大・増強を行い、正会員、特別会員、準会員および賛助会員の計150以上を再度目標に基盤構築を図る。

(2) 技術士試験受験への支援

既に開催した受験ガイダンスに続き、昨年同様5月18日、に第3回講習会、7月13日第4回講習会を予定している。またH26年度受験については、これまで同様に2月と3月に受験ガイダンスを予定している。詳細は、HPにおいて掲載する。

(3) 立命館大学への支援

昨年、大学の要請に応じて『JABEE制度と技術士制度説明会』の支援を実施したが、今年も要請されると考えており、大学と内容を調整して実施する。教室との意見交換、茨木キャンパス支援を企画する。

(4) 技術講演会および親睦会

総会時の講演を実施し、大学との連携講演を企画する。また交流懇親会は、継続して実施し、幅広い交流へと企画していく。

<予 算(案)>

① 収 入

(1) 会費等	本・特別・準会員	300,000
	賛助会員	50,000
(2) 講習会等		30,000
(3) その他		34,250
(4) 前期繰越金		435,750
合 計		850,000

② 支 出

(1) 通信事務費	50,000
(2) 受験支援事務費(支援データ送付等)	30,000
(3) 講習会、幹事会等会場費	150,000
(4) 振替手数料	10,000
(5) 技術士受験支援基金	200,000
(6) 講演会・交流会企画基金	150,000
(7) 大学支援・共同企画基金	150,000
(8) 予備費	110,000
合 計	850,000

<第4号議案>

立命館大学技術士会会則改定

2009年12月に設立以来、会則にしたがって一步一步着実に歩んできた会を一層充実させるために、会則を改定し、組織の拡充を図るものとする。

会則改定は、以下の3点である。

<改定①>

(目的)第2条に(5)として、地域や社会活動の支援を志向する。

<改定②>

(資格の喪失)第8条の(5)として、会費3年未納者を退会とみなすものとする。

<改定③>

(職務)第13条5. 項に、幹事会の役割分担ワーキンググループ構成を可能とし、幹事会運営の円滑化を図るものとする。

なお詳しくは、会則改定案を参照ください。

< 第5号議案 >

第4期役員人事(案):敬称略

役職名	氏名	卒業年	部門
会長 (1名)	大森 秀高	S 50	建設
副会長 (6名程度)	南側 晃一	S 53	建設
	土屋 光弘	S 58	建設
	橋口 正悟	H 15 院	建設
幹事 (20名以内)	大森 秀高	留任	S 50 建設
	口西 博	留任	S 38 建設
	糸田川 廣志	留任	S 47 上下水道
	山崎 糸治	留任	S 50 建設
	南側 晃一	留任	S 53 建設
	西村 敏	留任	S 54 上下水道
	楠本 博	留任	S 54 建設
	土屋 光弘	留任	S 58 建設
	青山 裕之	留任	H 05 建設
	太田 和夫	留任	H 05 建設
	長谷川 真也	留任	H 13 建設
	橋口 正悟	留任	H 15 院 建設
	日室 伸一	新任	S 54 上下水道
	今井 豊	新任	H 08 上下水道
幹事長	糸田川 廣志	留任	S 47 上下水道
会計監事 (2名)	宮川 繁雄	留任	S 46 上下水道
	村山 稔	留任	S 49 建設

幹事及び監事以外の役員

役職名	氏名(敬称略)	摘要
顧問	児島 孝之 山田 淳 田中 伊三雄	
相談役	奥村 一 大田 淳之 岸田 順三 渡邊 郁夫	会長 → 相談役